

連合 労働相談通信

第82号

2018年11月発行

編集・発行：連合・非正規労働センター

tel 03-5295-0555 fax 03-5295-0547

e-mail:hiseiki@sv.rengo-net.or.jp

**職場ハラスメント防止法を立法しよう！
～世界から“ハラスメント天国・日本”
と呼ばれないように～**

弁護士 棗 一郎
日本労働弁護団幹事長

職場いじめの相談件数が、6年連続トップとなった。全国の労働局総合労働相談コーナーに寄せられた労働相談である。約25万件の相談のうち7万2000件。毎年、7万2000人もの労働者が職場でパワー・ハラスメントの被害を受けているということであり、セクシュアル・ハラスメントやマタニティ・ハラスメントを入れたらもっと多いだろう。

パワハラ被害を訴える訴訟や労働審判の件数も跳ね上がり、労働判例雑誌には毎号のようにパワハラ・職場いじめ事件の判決が複数掲載される。毎年年末に行われている全国の労働事件担当裁判官の司法研修でも、パワハラ事件の裁判・労働審判における審理、証拠調べのあり方について議論することになっており、裁判所も多数の訴えがあるパワハラ事件の処理に苦慮している。

パワハラによる精神疾患、自殺事件も多発している。もはや「職場ハラスメント防止法」の立法は一刻の猶予もない緊急の国民的課題である。そればかりか、職場のハラスメントの問題は世界的な課題であり、2019年6月のILO総会でハラスメントに関する新たな禁止条約が成立する見込みである。

ところが、日本政府は批准するつもりはなく、このテーマを議論している労働政策審議会雇用環境・均等分科会はハラスメント防止法の立法に向けて動く気配がない。連合の労働者側委員は必死に立法が必要だと訴えてい

るが、いつものごとく厚生労働省も使用者側も全くそのつもりはなく、ガイドライン程度でお茶を濁すつもりである。またしても、日本は世界のすう勢から取り残され、“職場ハラスメント天国・日本”のままガラパゴス化していく。

政権や官庁のセクハラやLGBTの問題に対する意識の絶望的な低さが露呈しているが、パワハラについても本気で対処するつもりがない。もはや労働側はなす術がないのか？

いや、そんなことはないはずである。使用者側でも心ある経営者の人たちも存在する。

“育メン・育ボス”のようにハラスメント防止立法をめざしている経営者たちがいることを知って、心が救われた。行政官や与党の政治家にも心ある人はいるはずである。労働組合側も労働弁護士も、政労使の枠を超えてあらゆる立場の人たちと連携し連帯して、職場ハラスメント防止法の立法を求める運動を力強く進めていこう！

日々、全国の職場で生まれているハラスメントの被害者のことを思えば、我々労働側は立ち止まってなどいられない。日本労働弁護団では、立法を求めるネット署名を行っているので、ぜひ皆さんにもご協力いただきたい (<http://ur0.work/Mu9I>)。こういう時こそ、団結してガンバロー！！



◇アドバイザー 北から南から◇ 連合和歌山での労働相談活動

連合和歌山アドバイザー
香西 英生

連合和歌山の体制

連合和歌山の労働相談体制は、県下全域を専従役員 4 名とアドバイザー 1 名で対応しています。全国一斉集中労働相談時には、ラジオCM、新聞広告、街頭活動、さらに電話受付体制の強化策として 4 つの地域協議会（和歌山・海南海草、有田・御坊日高、紀州熊野、紀北）から地協事務局長を対象に「アドバイザー実践学習会」を実施しています。「アドバイザー実践学習会」は、過去の相談案件を参考にした応対練習、実際に電話相談への受話応対を行い、労働相談期間の中の 1 日は参加していただいています。

また、「なんでも労働相談ダイヤル」の周知活動としては、和歌山市内を走る路線バスに広告を掲載するとともに、街頭行動時も「なんでも労働相談ダイヤル」のチラシやティッシュを主要駅にて配布しています。また毎年、メーカー会場に設置される連合和歌山コーナーに、労働相談テントを設けて一人でも多くの方に知っていただく活動も行っています。

和歌山県の魅力

「都道府県の魅力度ランキング 2017」におい



該当宣伝活動の様子。



路線バスへ掲載した「なんでも労働相談ダイヤル」の広告

て、和歌山県は山口県と同順位の 31 位でした。何となく分かるような順位です……。古都・京都や奈良、大阪、兵庫、湖のある滋賀と、全国では有名な近畿地方に属していますが、近畿地方でも紀伊半島西側に位置する有名でない地味な県です。

県民性は、紀伊半島の温暖な気候に生まれ、南国らしいのんびりとした性格で、他県の人に頼まれれば親切にアイデアを教え、さっと盗まれてしまうという、お人好しの一面もあります。振り返ると、和歌山が発祥と言われるのは、お菓子に始まり、鰹節、醤油、蚊取り線香……とたくさんありますが、すべて他県の人に親切に教えて、今は有名ではありません。

最近では世界遺産の高野山はもとより、「たま駅長」で外国からの観光客も増えているようです。国内では地味でも、海外では少し有名かも知れません。

最近のニュースは、パンダの出産です。恩賜上野動物園の 3 頭のパンダは超有名ですが、和歌山の白浜には夫婦とその子ども 3 頭、さらに 8 月 14 日にも 1 頭生まれ、計 6 頭になりました。混雑もなく、餌やり体験もあり、ゆっくりパンダと触れ合うことができます。近くには白浜温泉・白い砂浜の白良浜海水浴場、世界遺産の熊野古道もあり、地味な県ですが、中身はいっぱいの和歌山県です。